

# 全国協議会 ニュース

発行所  
全国骨髄バンク  
推進連絡協議会  
〒160-0005 東京都  
新宿区愛住町23-1  
Woody21-9階  
TEL.(03) 3356-8217  
FAX.(03) 3356-8637  
発行責任者  
渡辺孝一  
http://www.marow.or.jp/  
E-mail:info@marow.or.jp

郵便振替口座  
00150-4-15754  
銀行口座  
さくら銀行 新宿支店  
普通 5666655

## ドナー登録30万人に向けて！ 1999年新春のご挨拶

### 新たなスタートを 全国骨髄バンク推進連絡協議会

会長 海部幸世



すべての骨髄バンク関係者として全国のボランティアのみならず、あけましておめでとうございませう。

日本骨髄バンクは昨年、ドナー登録10万人を突破しました。当初のこの目標は「5年間」で達成するべくスタートしたのですが、遅れること1年半以上ということになりました。そして今、私たちは新たな目標「30万人」を掲げています。まだまだ、不断の努力を重ねていかなければなりません。

日本骨髄バンクはこの新しい年で8年目を迎えました。今年こそは、これまでの謙虚な反省の上に立った新たな展開で、よりよい骨髄バンクを築くために邁進してまいりたいと思っております。そのためには、事業当事者である厚生省、骨髄移植推進財団、日本赤十字社と私たちボランティアがともに手をたずさえ、より有機的に連携していくことも必要です。

今年を新たなスタートの年と位置づけましょう。



室長 朝浦幸男

新年明けましておめでとうございませう。年頭を迎えるに当たり、骨髄バンク事業の推進につきまして、一言抱負を述べさせていただきます。

骨髄バンク事業も発足7年を経過し、新たな展開が期待されているところと考えております。

さて、骨髄ドナー登録者数が昨年は8月に当初の目標の10万人を達成しましたが、これもドナー登録してくださった方々や事業の運営に携わる方々、それを支援してくださるボランティアの方々への御協力によるものと厚く御礼申し上げます。

また、予備的照会システムの導入、BMDWの加入、休日における集団説明会の実施等、バンク事業の一層の進展が図られました。

今後、新たな目標である30万人のドナー登録へ向けての普及啓発事業の充実等、骨髄バンク関係者にとって課題も山積しておりますが、厚生省といたしましても骨髄移植の推進に向け精一杯努力してまいりますので、全国協議会の皆様方にも、これまで以上の御支援、御協力を賜りますようお願いいたします。

### 役員一同全力を傾注 骨髄移植推進財団

理事長 小池欣一



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

全国で骨髄バンク事業の推進にご尽力をいただいている皆様方に心から敬意を表しますとともに厚くお礼申し上げます。

さて、わが国の経済社会の現状は極めて厳しい環境にありまして、ドナー登録者の着実な拡大、国際協力体制の整備を進め、骨髄バンク事業の着実な推進を図ってまいりたいと考えています。

特に、本年度は、昨年設定されたドナー登録30万人目標達成に向けて、普及啓発事業の一層の充実を図る必要があり、関係各方面のご協力を得て実施いたしました「休日におけるドナー登録説明会」の成果を踏まえ、一人でも多くの患者さんに骨髄移植のチャンスを提供できるよう努力する必要があると考えております。

年頭にあたり、本財団に課された使命の重大さに深く思いを至し、役員一同一層全力を傾注してまいり所存でありますので、引き続き暖かいご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに貴協議会の益々のご発展と皆様方のご健康を祈念いたします。新年のご挨拶といたします。

### 検査受入体制を強化

日本赤十字血液事業部  
部長 大竹一生



平成11年の新しい年を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

日本骨髄バンクも既に7年が経過し、各地での普及啓発活動を始め、骨髄バンク事業発展のための皆様のご努力により、昨年8月には骨髄提供希望登録者現在数が10万人を越え、又、BMDWに加盟されたことで患者さんの移植の機会が広がりました。

新たな確保目標の登録者30万人を目指している今、公的骨髄バンクの一翼を担うものとして、骨髄データセンター業務を引き続き適正に運営しながら骨髄提供希望者の登録機会の更なる拡大、検査受け入れ体制のより一層の強化を図り、皆様方とともにこの事業をより良いものとして、骨髄移植を必要とされる患者さんのために努力して参る所存であります。

最後に貴協議会の皆様方のご健康とますますのご発展をお祈り申し上げますとともに、旧年にましてのご支援をお願い致します。新年のご挨拶とさせていただきます。

### 名古屋で全国大会開催

の仲間がいることも忘れてはなりません。彼らのためにも、私たちはより一層、すばらしい骨髄バンクを育てていくために、ここに新たな誓いをするものがあります。

昨年、ドナー登録におきましては、私たちがかねてから希望していた休日の登録受付窓口が始まり、さらに休日の集団一斉登録が試験的に開始されました。その成果は期待通りの大き

なものがありました。今年こそは、本格的なドライビングによるドナー登録を実現できるよう、関係者の皆様とともに努力を重ねていかなければなりません。30万人という目標を達成するため、何をしなければならぬのかを、私たちがそれぞれが真剣に考えねばなりません。

ハードルはより高くなかば、最大限の力を注いでいきたいと思います。

好天に恵まれた12月19日、名古屋国際会議場の白鳥ホールにて、財団全国大会98 in名古屋が開催されました。造血細胞移植学会、あやちゃんの贈り物展等併せての開催だったこともあり、かなりの方が参加されてました。

来賓として、海部会長が祝辞を述べましたが唯一原稿を持たずに挨拶したのはさすがだなと思えました。短い挨拶でしたが、十分に重みを感じる挨拶でした。

全国大会は3部構成で開かれ、最初に骨髄バンクの現状と行うことでスライドと平行しての説明でしたが、私がスライドをよく見ながら次のスライドに移るといような感じだった。

最後に大谷貴子副会長の司会によりパネルディスカッション「骨髄バンクへの想い」があり、ドナー経験者の方や元患者さんやバンクのボランティアをはじめ中学生たち、そしてコーディネーターの方など、色々な立場の方から、感動的な話をたくさん聞くことができ大変良かったと思います。

今大会での準備かなり大変だったと思います。愛知の会の皆さん、そして参加されました皆様お疲れさまでした。(竹村)

### 代表者会議を名古屋で開催



本年度第2回の全国協議会代表者会議を12月20日、名古屋の金山プラザホテル会議室にて、加盟23団体の参加を持って開催

しました。また、未加盟の岡山からもオプザーバー参加による出席がありました。話し合われた議題は次の通りです。

今年本格ドライビングを  
全国骨髄バンク推進連絡協議会  
運営委員長 野村正満

明けまして、おめでとうございませう。

また、新しい年を迎えることができませんでした。しかし、この新春を祝うことができない私たち

その疲れに、  
リゲインを。

肉体疲労時の栄養補給、滋養強壮に。

**Regain** 医薬品

メーカー希望小売価格：50ml・291円(本体価格)

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

●12月は「骨髄バンク推進月間」! 全国で啓発活動を展開中  
政府広報による全国紙・地方紙での一面窓枠広告、テレビでは30秒スポットCM(東ちづるさん出演)が、政府広報番組や日本テレビ系列のズームイン朝で放映。新聞折込み政府広報紙「にっぽんNOW」で特集掲載が行われました。さらに、各都道府県・市町村の広報紙、テレビ・ラジオ等でのお知らせ、パネル展や街頭啓発、一般新聞等での啓発記事掲載等が行われています。

●「骨髄バンクを応援する若手国会議員の会」が総会を開催  
骨髄バンクを応援する若手国会議員の会(会長・野田聖子衆議院議員、超党派の衆参両院議員49名)が結成され4年が経過しています。12/14(月)午後、衆議院議員会館会議室で今年度の総会が開催され、骨髄バンク事業への国庫補助金・財団の財源確保、普及啓発活動への支援、通信費等の軽減対策等について論議され、力を合せて骨髄バンクを応援する旨の申し合せが行われました。

「代表者会議・議題」  
・造血細胞移植学会参加報告  
・募金箱設置計画案  
・全国キャラバン企画案  
・患者向け小冊子発行計画

●お知らせ  
1) 財団フリーダイヤルを増設。番号は0120-445-445(毎日09:00~21:00受付)。  
2) 「休日のドナー登録集団説明会・登録採血」  
1月17日(日)岡山市「岡山国際交流センター」(50名)、  
2月14日(日)広島市「広島国際会議場」(60名)で開催予定です。地元の皆様のご協力をお願いします。

	11月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,113	106,348	119,696
患者登録者数	98	1,594	7,102
骨髄移植例数	52		1,804

●患者コーディネーター設置要望  
●財団質問状の回答  
●NPO法人格取得の方向性

骨髄バンクボランティアダイヤル  
フリーダイヤル  
0120-892-106

### 白血病フリーダイヤル学会で報告

12月19日、第21回日本造血細胞移植学会において、一般演題「患者と家族」コーナーに「白血病フリーダイヤル2年半の実績」電話相談にみる患者と家族の姿」と題して他の5グループとともに、ポスター発表し、同時に座長として討論に加わった。用意していた資料は数分でなくなり、また、展示の際、隣のコーナーの看護婦さんから「わー怖い。だってこれって生の声だものね」との話を聞いた。電話相談という特殊性からか、いまだ小児科領域の患者



展示発表する村上順子運営委員(座長)

### 認知度が深いあらわれ 「休日一斉登録」の実績

ドナー登録の「休日受け付け」が12月6日、東京、神奈川、山形、秋田で実施され、この日だけで総計317人が登録を果たしました。10月4日に初めて実施されたから大規模な受け付けは2度目ですが、秋田では10月を皮切りに連続9カ所をこなしたことになります。

受け付け状況で特徴的なのは、いわゆる「飛び込み」がかなりの人数に上ることです。神奈川は「予約者だけ」でしたが、東京(八王子)では69人もが飛び込んだもので、これは骨髄バンクの認知度がかなり高まっていることの証であるように思います。



東京・八王子での一斉登録(12月6日)

### 心からのご寄付をありがとうございました

11月20日～12月18日	
豊川看護学校	現金 23,230円
村上順子	現金 1,440円
鈴木純子	現金 1,340円
東京昭紙会	現金 62,560円
岩村進次後援会	現金 414,190円
佐々木孝雄	現金 100,000円
ガールスカウト埼玉22団	現金 10,000円
金沢信子	現金 2,000円
原澤敦子	現金 3,897円
霞友会館	現金 984円
明幸洋紙(株) 広瀬 顕	現金 10,000円
大宮開成高等学校	現金 50,000円
原田佑佳	現金 4,300円
平岡典子	現金 30,000円
国際ソロプチミスト名古屋	現金 50,000円
名古屋ベンチャークラブ	現金 30,000円
台東中学校生徒会	現金 43,965円
匿名	現金 5,000円
村田充子	現金 1,000円
館田輝子	現金 10,000円
コハマユキオ	現金 50,000円
サンシャインサービス(株)	現金 11,504円
匿名	現金 1,657円
岐阜骨髄献血希望者を募る会	現金 50,000円

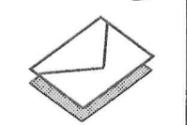
●佐藤きち子患者支援基金

骨髄バンクを支援する会	現金 500,000円
札幌市立美しが丘小学校家庭教育学級	現金 3,000円
吉野正則・由紀子	現金 20,000円
匿名	現金 5,000円(敬称略)

#### 活動資金の援助をお願いします

銀行口座  
さくら銀行 新宿支店  
普通 5666655  
郵便振替口座  
00150-4-15754  
全国骨髄バンク推進連絡協議会

### 各地ののり



各地のたよりを  
写真を添えて  
お寄せください。

#### 「いのちのあさがお」展

12月11日より13日まで浜松駅前「いのちのあさがお」展を県と共催で行いました。これは静岡骨髄バンクを推進する会が毎年推進月間にあわせて西部、中部、中部地区の3カ所で啓発活動の一環として実施しているものです。



大石邦子さんをお迎えして、12月12日に骨髄バンク・腎臓バンク・アイバンク共同イベント「やさしさのカタチ」を開催しました。足下の悪さが心配されましたが、日頃の行いの良さで晴れ！ほつ！大石さんのお話は何度聴いても感動！感激！感涙！来られた方々もぐんぐんと涙ぐんで聞いていました。「久々にやさしくなれたような気がします」と後で感想をくださった方もいらっしやいました。そして、大石さんの講演を聴きに、なんと大谷さんご姉妹が富山に来襲。岐阜の田中さんも出現。大石さんの運転手として福島の陽田さんも来てくださり、なんだか骨髄バンクだけで

#### 再彩市場

11月28・29日の2日間、大阪・南港のインテックス大阪で「再彩市場(さいさいいちば)」が開催され、大阪骨髄献血の和を広げる会を中心に、関西骨髄バンク推進協会とその加盟各団体の協力を得て、骨髄バンクの啓発活動を行いました。

この再彩市場というのは企業と市民が出店する巨大フリーマーケットで、半年に一度大阪と神戸で開催されます。さすが商人(あきんど)の街・大阪だけあって、少しでも安いものを買おうと連日大勢の方が来場されました。

もう一本シンポジウムができるようなにぎやかな富山の一日でした。(油野)

リーフレットやキティちゃんテッシュの配布、風船募金などの啓発活動の結果、2日間で72名の登録申込みがありました。今回の活動中、「骨髄バンクの登録は面倒くさい。この場ですぐ登録できるならすが、別の日にわざわざ出かけてまで登録しようとは思わない。何とかこの場で済むようにならないか」というご意見をいただきました。実は我々もこの活動にあわせて集団登録(ドライブイン)ができないものかと働きかけたのですが、調整がつかず、今回は断念したのです。

次回、再彩市場が開催される際には啓発活動とともにドライブインまでできるよう、財団、日赤、行政への働きかけを強めていきたいと思えます。(高橋)

#### 遠藤 允の会報づくり講座その⑬

●実践編④レイアウト  
すべてを印刷業者に任せてしまう場合は考える必要がないのがレイアウトだが、自分たちでやればこれはこれで楽しい作業となる。縦組み新聞の場合は、いくつかの原則があつて整理記者はあつかも徒弟制度のような形で、それらをたたきこまれていく。

プロの原則とは、見出しの字数から始めて、同じ段数や漢字ばかりの見出しを並べない、行末に見出しを配置(見出し落ち)しない、といったことなどで、もっと詳細に及ぶがここでは省略する。

縦組みを基本にしておく

と、記事によっては横組みのものも配置でき、両方が混在することで「見た目のカッコよさ」が出せるのだが、アマチュアが手がけることの多い会報では、横書きが主流になりつつある。それでも、一応「原則」はあって、やはり見出し落ちはまずいし、字数が多すぎたり短すぎたりする見出しは形が悪い。

レイアウトで大きな活字を使う見出し、写真やカット、図表などをうまく配置するのは、かつこよさだけでなく、そのほうが「読みやすい」からだ。加えて罫線の活用も思いのほか全体を引き締める。

縦組みでも横組みでも、いわゆる「読流線」というものがある。なんの違和感もなく読み進むことができるのは、読者の読流線に沿ってレイアウトされているからで、「アレ、この記事はどこへ続くの？」と迷ってしまうのは、まづレイアウトなのだ。やむを得ず矢印を使って、読み進む方向を示す商業誌もあるが、やはりいいだけだ。

段組みも大事な要素だ。1個面の大きさはB5判かA4判が多いはずで、本文文字の大ききにもよるが基本的には2段組みがいいだろう。1段では行末から行頭に移るとき戸惑いがちになるからだ。

### hideのぶんまで、生きるんだ。

「X JAPANのhideに会いたい」……1995年12月31日、世界でも数十例しか報告されていない難病と闘う少女の夢がかなった。出会いの瞬間にふれた、hideの大きな優しさ、その日から彼女を励ましつづけるhideと、彼を兄のように慕う少女のあたたかい関係が始まった。そして1998年5月2日、hideの突然の死。悲しみをのりこえ、hideのぶんまで、生きるんだ。少女は、今も、未来を信じて闘っている。ふたりが交わったEメールや手紙、プライベート写真など友情の軌跡を初めて公開する。hideのこころにふれる感動のドキュメンタリー。



難病と闘う少女とhideの2年5か月。

hide  
「がんばらなぞ」  
優しさ、愛と勇気をありがとう



著者・遠藤允 (TEL: 03-3230-5739) 定価: [本体] 2,800円 + 税  
好評発売中 小学館  
本書の売上金の一部は全国骨髄バンク推進連絡協議会に寄付され、患者支援基金にあてられます。  
○ご希望の平が、お近くの書店にない場合は、当社「愛読者送付センター」がTEL又はFAXでご購入等の問い合わせをお受けします。●書籍の問い合わせ: 03-3230-5739 ●コミック、ムック、ビデオ、CDの問い合わせ: 03-3230-5749 ●FAX: 03-3230-0094 ●インターネット・小学館オンラインショップ: http://www.shogakukan.co.jp

フジテレビを  
見て見ぬふりは  
やめましょう

フジテレビ